

社会福祉法人 東京援護協会



東援だより 第32号

理 念

私達は、高い志を持ち、時代の要請に基づき先駆的に社会福祉の充実を図るため、活力のある経営を行って、社会福祉法人としての責任を果たし、社会に貢献してまいります。



関東ブロック老人福祉施設研究総会 発表 特別養護老人ホームいずみの苑

も く じ

- 7 地域公益活動実践報告 ……………
- 6 下半期 法人施設公開行事報告・日程 ……………
- 4 地域交流行事報告「夏祭り」 ……………
- 3 関東ブロック老人福祉施設研究総会 ……………
- 2 評議員あいわじ ……………

人材確保対策

理事長 山口 桂造



少子高齢化の進展は、未曾有の介護人材不足を招いています。厚労省の推計によりますと、2025年には全国で約38万人の人材不足が予測されています。介護福祉士養成校への入学者数も5年連続で減少しており、18年度では定員充足率が44%まで落ち込んでいます。

人材確保対策は、喫緊の課題と考えます。

対策の第1は、離職を可能な限り止めることです。当法人の離職率は、17年度5.4%でした。福祉施設の離職率が15~20%とされていることから、大変に低い数値といえます。これは、当法人の職場が働きやすい職場であることの証しです。職員の方々の日々の努力、先輩からの良き伝統、職場づくりPTや研修PTの活躍等が相俟つての結果と思えます。

第2は、高齢者の就業です。長寿化は、一方でがん等の疾病を起こしますが、一方では元気な働き手を生み出しています。都内の介護職員に占める60歳以上の割合は、08年度の8.0%が17年度は19.9%と倍増しています。ただ、高齢者には、疲労、家族介護、趣味等の理由から就業時間を抑える人も多く、就業ミスマツチがあることも考慮しておく必要があります。また、政府は継続雇用年齢を70歳まで引き上げる方針を表明しています。今後、これらの動向を注視し、積極的な検討が必要と考えます。

第3は、ロボットの導入です。排尿を事前に知らせる機器、ベッドから睡眠・呼吸・心拍を送るセンサー、会話ロボット、歩行支援ロボットスーツなど沢山のロボットが開発されて来ています。人材不足解消に大きな期待が持てます。ただ、金額が高いこと、利用者の抵抗感等の問題点があり、導入財源の確保、補助制度の活用等の検討が必要です。IT・AI導入検討PTを設置して検討しています。

最後に、外国人介護職の受け入れです。現在、技能実習法や経済連携協定(EPA)に基づき介護実習生の受け入れが行われていますが、今国会で入管難民法が改正されました。新たな在留資格を創設し、介護職については5年間で6万人を受け入れようとするものです。人手不足解消の切り札ともいえるものですが、外国人の日本語能力、民族性、住居の確保、適正な給与体系等沢山の課題があります。早急に取り組んでいかなければなりません。

人手不足は、職員の皆さんに負担をかけ、利用者さんへのサービスに大きな影響を与えます。以上の対策を中心に、あらゆる手立てを講じて人材確保に取り組んでいきたいと考えています。



雑感「最近の報道から」

東京援護協会 評議員 中村久雄

東京援護協会は、今年で創立66年を過ぎ70年を目前にしています。この長きに亘り事業を続けることが出来たのも法人の理念である「高い志と法人としての責任感」が職員一人ひとりに浸透しているからだと思います。

ところでこの頃、新聞紙上を賑わしているものに日本を代表する企業による品質の不正があります。大手油圧メーカーによる免震データーの改ざんや大手自動車会社による性能検査の不正。また、大学医学部の不正入試など、国民生活の根本を揺るがす重大な問題が起きています。その原因というものは、もちろん技術力の低下や、ベテラン職員の退職などが、最たるものは企業の倫理観の欠如だと思います。消費者にとって製造過程や性能データなどは、判りにくく調べようがありません。だからこそ企業が厳格な検査を行い消費者に

安全・安心を届ける必要があります。それによって、信頼関係が築かれるものです。さらに、事件発覚後の対応も真摯にされているとは思えません。謝罪すべき責任者の言葉や態度からは通り一遍の文言が並べられ真意が伝わりません。危機管理としてはビジネス史上最も優れた対応を実践した「タイヤノール事件」の例があります。ここで、大切なことはコンプライアンスを高め不透明性や不正をなくすという事です。

援護協会の職員は、絶えず問題意識と倫理観を持って仕事に取り組んでおり、胸を張って良いと思います。介護の仕事は人と人が寄り添い相手の立場を理解し初めて成り立つものです。皆さまには、法人の理念である「高い倫理観」とお客様本位の「まごころ」を持って、100年企業を目指し、法人の発展と職員の幸せのためにご尽力頂きたいと思っています。

法人ホームページのリニューアル!

すでに、お気づきの方も多いかと存じますが、当法人施設の利用者様が作成している「自主生産品」のページを新たに開設いたしました。各施設で作成されている商品を見やすくまとめたもので、カテゴリで検索もかけられるようにして、ご興味がある物を探しやすく、見やすくいたしました。利用者の皆様様が心を込めて作ったものをぜひご覧いただき、販売場所のお近くにお越しの際は、ぜひ本物を手に取っていただければ幸いです。

また、トップページも一部改良しております。ご覧になる方が、当法人からの情報が一層見やすくなるように工夫いたしましたので、これからも、当法人のホームページに訪れていただきたく、よろしく願いいたします。



<http://www.tokyoengokyokai.or.jp/product>

スマートフォンサイトは
こちらから



関東ブロック 老人福祉施設研究総会

平成30年9月11日・12日

文章

特別養護老人ホーム 介護職員
齋藤 隼人

発表者

特別養護老人ホーム 介護職員
齋藤 隼人・内山 貴史

アクティブ福祉 in 東京'17の最優秀賞の中から東京都代表として、いずみの苑が推薦され、9月11・12日に幕張メッセ国際会議場で行われた第54回関東ブロック老人福祉施設研究総会にて「足指体操」のプレゼンテーションを行って参りました。

「足指体操で転倒減少・歩行安定・姿勢改善」……在宅・施設に関わらず、多くの皆様に興味を持って頂ける、また困っているテーマであったようので、配布資料はあつという間になくなり、満席で立ち見の方まで見られるような大盛況でした。

どの施設もその県を代表する施設であり、とても素晴らしい発表をたくさん聞くこともできました。各施設発表の他に、千葉大学合唱団の素晴らしい合唱セレモニーや、テレビでも活躍されている「尾木ママ」の講演、各施設との交流会などがあり、とても為になる体験をたくさんすることができました。特に尾木ママの講演の中に子供の育児に関する話があり、2人の子供の育児に毎日四苦八苦している私としては、とても参考になりました。

いずみの苑は2016年からアクティブ福祉 in 東京に参加し、第2回目でこのような栄誉ある舞台に立つことができましたことを光栄に思います。本年の第3回目は「ひもときシート」で参加、今後も福祉業界の発展に貢献できるよう外部への情報発信を続けていきたいと思えます。また足指体操を地域

の皆様を紹介する機会を設けるなど、外部との交流も積極的に行っていきたいと思えます。



ひまわりフェスタ

支援係長 今井克

7月7日(土)の暑い中、今年も盛況のうちに田柄福祉園「ひまわりフェスタ」(納涼祭)が開催されました。模擬店販売、自主生産品販売、イベント、ゲームコーナーと盛りだくさんの内容となり、多くの方々にご来場していただきました。今年も練馬区公式キャラクター「ねり丸くん」が登場し、来場者の皆さんと触れ合ってくれています。今回新しく販売した、田柄特製手作りハンバーガーが大好評、あつと言う間の完売となっています。自主生産品販売では、田柄福祉園の他、たくさんの同法人施設に販売に来ていただき、賑やかなお祭りになりました。イベントでは、どりいむ・ぼつくすさんがクラウンになってバルーンアートで楽しませて下さり、朝霞なるこ遊和会の子供たちによる「よさこい」の、かわいらしくも躍動感のある、迫力の踊りで盛り上げてくれました。多くのボランティアの皆様を支えられて、利用者も来場者も、大満足な納涼祭を開催することができました。



練馬区中途障害者通所事業

だんだんわくわく 出合いフェス

事務員 櫻井千郷

7月27日(金) 中村橋福祉ケアセンターの夏祭りが開催されました。「だんだんわくわく出合いフェス」の名のとおり、地域の皆様やだんだんを卒業された方々など、大勢お越しいただき、楽しいお祭りとなりました。また利用者様をはじめ、たくさんのボランティアの方々にご協力いただき、今年も無事に開催することができました。ありがとうございました。

毎年恒例のゲームコーナーでは、小学生が友達同士で点数を競い合い、小さなお子さんはお母さんと一緒に楽しむ姿が見られました。その場にいた利用者様や職員も、自然と笑顔がこぼれ、楽しく穏やかな時間を過ごすことができました。車椅子体験やボッチャ体験は、子供達に人気があり、これから大人になっていく過程で、少しでも障害への理解を深めることにつながればと思います。自主サークル主催の歌の披露や、自主製作品の販売では、地域の方々とふれあうとても良い機会となりました。利用者様ご自身の作品を、地域のお客



様が嬉しそうに買っていく姿を見ることは、今後の創作意欲にも繋がることでしょう。

来年もお待ちしておりますので、近くにお越しの際には、ぜひ遊びにいらしてください。



特

行事報告

夏祭り

い



第8回納涼祭り

生活支援員 佐藤 良彦

8月18日(土)、天候に恵まれた第8回三園福祉園納涼祭りが開催されました。

模擬店では、焼きそばやフランク

フルト、ソフトクリーム等のお馴染みの物が並び、今年は新メニューとしてピザが加わりました。どのメニューも売れ行き好調で、利用者様

やご家族様、地域のお客様が美味しくそうに食べられていました。また、

家族会バザーや他施設販売もあり、目移りするほどの製品が販売されていました。ゲームコーナーでは、輪

投げとビンゴボードを実施し、皆様好きな景品を選んで嬉しそうな表情をしていたのが印象的でした。屋外

会場のイベントでは、盆踊りから始まり、スイカ割り、フィナーレを飾る花火大会が行われました。フィ

ナーレの花火で大会は、吹上げ花火

が夜空に綺麗な色とりどりの光を放ち、歓声が上がっていました。終わりを告げる閉会式では、大きな拍手がわき上がり、余韻を残しながら閉幕となりました。



前野福祉園

納涼祭 実施報告

就労支援係長 黒石 力

8月18日(土)、前野町四丁目町会様と共催で、納涼祭を実施しました。昨年は突然の豪雨で室内の開催でしたが、今年には天候に恵まれ、無事に常楽院様駐車場で開催することができました。

板橋区長様や法人理事長も来場され、ご挨拶をいただきました。

参加された利用者の皆様は、太鼓の演奏を披露したり、自主製品販売・射的・スーパールボールすくい

の手伝いをしたりとそれぞれが任された役割を行いながら、盆踊りや模擬店など夏の夜のひと時を楽しみました。

入出が例年よりも多く、会場内はすれ違うのがやっとの時間もあって、町会の皆さんや福祉園職員も驚くほどでした。それだけこのお祭りが地域の皆様に根付いているのを感じました。

共催していただいた町会の皆様、お手伝いいただいたボランティアの皆様、ご来場いただいた皆様、誠にありがとうございました。

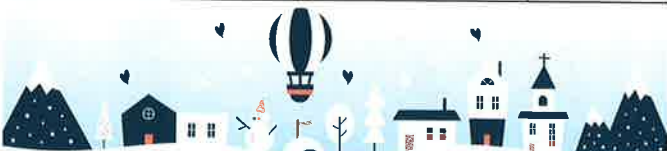


平成29年度 東京援護協会の財政状況

事業活動計算書の概要

(自平成29年4月1日 至平成30年3月31日) (単位:千円)

内 訳	収 益	費 用	増減差額
サービス活動増減の部	5,362,106	5,214,640	147,466
サービス活動外増減の部	34,924	22,829	12,094
特別増減の部	14,305	502	13,803
当期活動増減差額	5,411,335	5,237,971	173,364
前期繰越活動増減差額			1,687,288
当期末繰越活動増減差額			1,860,653



貸借対照表

(平成30年3月31日現在) (単位:千円)

資産の部合計		負債の部	
流動資産	1,804,617	流動負債	476,804
		固定負債	402,298
		負債の部合計	879,103
固定資産	2,229,614	純資産の部	
基本財産	675,845	基本金	77,805
其他固定資産	1,553,768	国庫補助金等特別積立金	447,080
		その他の積立金	984,018
		次期繰越活動増減差額	1,646,223
		純資産の部合計	3,155,128
資産の部合計	4,034,231	負債及び純資産の部合計	4,034,231

平成30年度下半期 法人施設公開行事・地域交流行事 実施報告 及び今後の日程 (一部)

施設名	行事名	月 日	時間帯	内 容
町田荘・サルビア荘合同	町田荘/サルビア荘/ ダイケアセンター 「秋の作品展」	10月20日(土)~ 11月2日(金)	9:00~17:00	里山交流館(町田市小野路町888-1)の土蔵 展示ギャラリーを借用し、施設の紹介及び利 用者作品展と相談コーナーを設置し、地域 の方に施設を知っていただく機会とする。
東京高次脳機能障害者支援ホーム (ヒブディ・トウキョウ)	ふれあい秋まつり	10月27日(土)	10:30~14:30	地域交流・地域公開行事。自主生産品販売、 模擬店、ゲームコーナー等。
特別養護老人ホームいずみの苑・ 蓮根高齢者在宅サービスセンター合同	第11回いずみ祭	10月28日(日)	10:00~15:00	模擬店、音楽ボランティアによる演奏、落 語などのイベントを開催。
大泉障害者支援ホーム	落語会	11月4日(日)	13:30~16:00	地域交流・地域公開行事。地元で活動して いるセミプロ落語家を招き、落語を聞いた りゲームをして楽しむ。
板橋区立前野福祉園	ニコニコフェスタ 2018	11月10日(土)	10:00~15:00	地域の方に施設事業を公開する地域交流行 事。アトラクション、クラブ発表、模擬店、 自主生産品販売等。
板橋区立三園福祉園	施設公開 「みその祭り」	11月14日(水)・ 15日(木)・16日(金)	10:30~11:30 13:30~14:30	福祉園で行っている日中活動(作業・レク リエーションなど)を利用者の方と一緒に体 験していただいたり、イベントを楽しんで いただく。
田柄福祉園	施設公開行事	11月17日(土)	10:30~11:30 13:30~14:30	地域の方々、ご家族、関係機関等を対象に、 実際の活動や写真・映像等を公開し、施設 を理解していただく機会とする。
練馬区立関町福祉園	施設公開 「関町フェスティバル」	11月17日(土)	10:30~14:30	地域の方々やご家族を対象に行う施設公開 行事。活動紹介、作業紹介及び体験、模擬店、 自主生産品販売、イベント等。
板橋区立小豆沢福祉園	施設公開 「あさのあずさわ大公開」	11月23日(金)	10:30~14:30	地域交流行事、体験を含む活動紹介、模擬 店、イベント等。
板橋区立障がい者福祉センター・ 板橋区立高島平福祉園	虹の祭典	12月1日(土)	10:00~14:45	地域交流行事としての催し物、作品展、事 業紹介、自主生産品販売、模擬店コーナー等。
東が丘福祉工房	年忘れ会	12月21日(金)	10:00~14:00	クリスマス会を兼ねての地域交流行事。
大泉障害者支援ホーム	就労支援講演会	2月13日(水)	10:30~12:00	発達障害や知的障害を持つ方の携帯情報端 末等ITを使ったコミュニケーション支援・ 生活支援。
大泉障害者支援ホーム	ガイドヘルプ入門講座	2月20日(水)	13:30~15:30	地域公開講座。外部講師によるガイドヘル プ入門講座。
東が丘福祉工房	さくらまつり	3月22日(金)	10:00~12:00	地域の方やボランティアの協力を得て、開 催する地域交流行事。抹茶の振る舞いや自 主生産品出店、音楽活動開催。

社会福祉法人 東京援護協会における地域公益活動実践報告

子どもの居場所づくり

三園福祉園 次長 三國 幸男

平成30年2月から「東援映画鑑賞会&昼食会」と題して、子どもの居場所づくり事業を開始しました。社会福祉法の改正を踏まえた地域公益事業の取り組みとして、福祉の視点から特に支援が必要な子供たちを中心に、親や教師以外の大人との関わりを体験し、地域に頼れる人と場があることを親子に知ってもらうことを目的としています。



近隣の小学校やあいキッズ（板橋区放課後対策事業）、町会・自治会や民生児童委員等にご協力いただき、チラシやポスターを配布しています。参加費は無料で、午前中に映画上映を行い、施設（いずみの苑）の厨房で調理した昼食を提供しています。昼食後はゲーム等のレクリエーションを行い、最後に子どもたちのニーズを把握するためのアンケートを実施しています。開始当初は板橋区立障がい者福祉センターで開催しましたが、他地区におけるニーズも高いことから、平成30年度は同センターと

いずみの苑で隔月に開催しています。参加児童数は各回ともほぼ20名を超え、リピーターも多く、参加した児童や保護者に好評を博しています。

東援健康サロン

小豆沢福祉園 次長 栗原 正敏

平成30年度、新しい地域公益事業の取組みとして、株式会社ローソン様の申し入れに対し、当法人が協力して地域の高齢者を対象とした健康づくり事業「東援健康サロン」を実施しました。ローソン板橋蓮根3丁目店舗の

イトインスペースを活用し、6月から11月まで毎月第2木曜日の10時に、「健康」をテーマとしたイベントを参加費無料で開催しました。「東援健康サロン」では、「健康測定」と「足ゆび体操」を実施し、株式会社ローソン様から「AGES（老化原因物質）測定器」を借りして、測定結果を健康手帳に載せ、各自の健康づくりに役立てていただいております。「足ゆび体操」は特別養護老人ホームいずみの苑で行われている転倒予防体操であり、自宅でも日常的に取り組める健康活動のひとつとして紹介しました。参加者に好評のため、12月からは地域高齢者のコミュニティ形成を目的に、高島平福祉園分場3時カフェにおいて、毎月第3水曜日に実施いたします。





法人の徽章

○徽章の理念は『平等』を現しています。
 ○上半分は『太陽』を、下半分は『海』を意味しています。
 『太陽』は生きる者全てに、わけ隔てなく光を与え育みます。そして人への愛、温もり、笑顔などのイメージが広がります。『海』は、地球上のあらゆる生物を産み、暖かく育ててくれた場です。
 ○『太陽』と『海』の存在が、平等を実現しています。

社会福祉法人東京援護協会施設一覧

法人本部

〒101-0044
 千代田区鍛冶町1-8-5 新神田ビル2階
 TEL: 03-3256-4711

施設(事業)名	住所
町田荘 施設入所支援事業 生活介護事業 短期入所事業(空床利用型)	〒194-0203 町田市図師町2987 TEL: 042-791-0905
サルビア荘 特別養護老人ホーム 短期入所生活介護事業 指定居宅介護支援事業 通所介護事業	〒194-0203 町田市図師町2987 TEL: 042-794-0333
東京高次脳機能障害者支援ホーム(HIBDy.Tokyo) 施設入所支援事業 生活介護事業 自立訓練(機能訓練)事業 短期入所事業(空床利用型)	〒178-0065 練馬区西大泉5-36-2 TEL: 03-3925-0088
練馬区立心身障害者福祉センター 練馬区中途障害者通所事業(だんだん) 自立訓練(機能訓練) 自立訓練(生活訓練) 地域活動支援センター	〒176-0021 練馬区眞井1-9-1 TEL: 03-3926-7214
高島平福祉園 生活介護事業 就労継続支援B型事業	〒175-0082 板橋区高島平9-25-12 TEL: 03-3550-3403 (分場) 〒175-0082 板橋区高島平9-1-8-201 TEL: 03-5399-7170
板橋区立障がい者福祉センター 地域活動支援センター 指定相談支援事業 基幹相談支援センター事業	〒175-0082 板橋区高島平9-25-12 TEL: 03-3550-3401
蓮根福祉園 就労継続支援B型事業	〒174-0043 板橋区坂下2-8-1-101 TEL: 03-5392-0761
前野福祉園 就労継続支援B型事業	〒174-0063 板橋区前野町4-16-1 TEL: 03-5392-8731
前野高齢者在宅サービスセンター 通所介護事業 指定居宅介護支援事業	
特別養護老人ホームいずみの苑 短期入所生活介護事業 通所介護事業 指定居宅介護支援事業 訪問介護事業 地域包括支援センター	〒174-0042 板橋区東坂下2-2-22 TEL: 03-5970-9101
蓮根高齢者在宅サービスセンター 通所介護事業	〒174-0046 板橋区蓮根2-28-2 TEL: 03-5994-1111

施設(事業)名	住所
小豆沢福祉園 生活介護事業	〒174-0042 板橋区東坂下1-4-9 TEL: 03-3969-5131
ケアハウス松が谷 軽費老人ホーム 通所介護事業 指定居宅介護支援事業 地域包括支援センター	〒111-0036 台東区松が谷4-4-3 TEL: 03-3845-6501
特別養護老人ホーム蔵前 通所介護事業 指定居宅介護支援事業 地域包括支援センター	〒111-0051 台東区蔵前2-11-7 TEL: 03-3862-3033 〒111-0051 台東区蔵前2-11-3
自立支援センター豊島寮 自立支援事業 地域生活継続支援事業 地域生活移行支援事業 巡回相談事業 ホームレス生活サポート事業	豊島区内
大泉障害者支援ホーム 施設入所支援事業 生活介護事業 短期入所事業 就労移行支援事業 就労継続支援B型事業	〒178-0061 練馬区大泉学園町9-4-2 TEL: 03-3978-5581
東が丘荘 更生施設 通所・訪問事業 ステップハウス事業 宿泊所	目黒区内
目黒区東が丘障害福祉施設 目黒区立東が丘福祉工房 生活介護事業 目黒区立東が丘あじさいホーム 短期入所事業 福祉ホーム	〒152-0021 目黒区東が丘1-21-15 工房 TEL: 03-3410-0778 ホーム TEL: 03-3410-6030
練馬区立関町福祉園 生活介護事業	〒177-0053 練馬区関町南3-15-35 TEL: 03-3594-0217
三園福祉園 生活介護事業 重症心身障害児(者)通所事業	〒175-0091 板橋区三園2-9-16 TEL: 03-5383-9587
田柄福祉園 生活介護事業	〒179-0073 練馬区田柄3-14-9 TEL: 03-3577-2201

発行日 平成三〇年十二月二十一日
 発行者 山口 桂造
 社会福祉法人 東京援護協会
 東京都千代田区鍛冶町一八八-五
 新神田ビル2階
 電話 〇三―三二五六一四七一

結集後記
 今年も早いもので、残すところあと僅かとなりました。
 今回は、一年を振り返って各施設や法人で行った取り組みの様子をお届けしています。
 今後も利用者様やご家族様、地域の皆様に喜んでいただけるサービス提供を職員一同心掛けてまいります。次回の「東援だより」では、法人の平成の歩みや専門職特集等、当法人の歴史や魅力を存分に知っていただける内容をお届け致します。楽しみにお待ちしております。



まつがや高齢者在宅サービスセンターでは炭酸水を使い足浴をおこなっております。ご利用者様からは「足がぼかぼかする」「足浴すると良く眠れるのよね」など好評をいただいています。足を湯につけている間は足元が暖かいせいか、うたた寝される方や、お友達同士おしゃべを楽しんだりそれぞれのリラックスタイムを過ごされている様子です。
 撮影：まつがや高齢者在宅サービスセンター

この施設この一枚